

橋本市の 地域公共交通再編に向けた取り組み

ワン チーム

～はしもと ONE TEAM 競合から協働へ～

橋本市生活交通ネットワーク協議会

事務局 橋本市総合政策部政策企画課



橋本市ってこんなまち (R3.12月末現在)



- ◆人口総数 …61,019人
- ◆世帯数 …27,376世帯
- ◆高齢化率 …33.0%
- ◆和歌山県の北東端に位置
- ◆大阪府と奈良県に隣接
- ◆古くから高野山への参詣道と大和街道が交差する**交通の要衝**として栄える
- ◆広域幹線道路や鉄道の乗り入れにより「**和歌山県の東と北の玄関口**」の役割を担う
- ◆近年は**京奈和自動車道**の整備により近畿・中部地方とのアクセスが向上



橋本市ってこんなまち



農業と養鶏がさかなまち



伝統工芸品「紀州へら竿」



市中心部を流れる紀ノ川



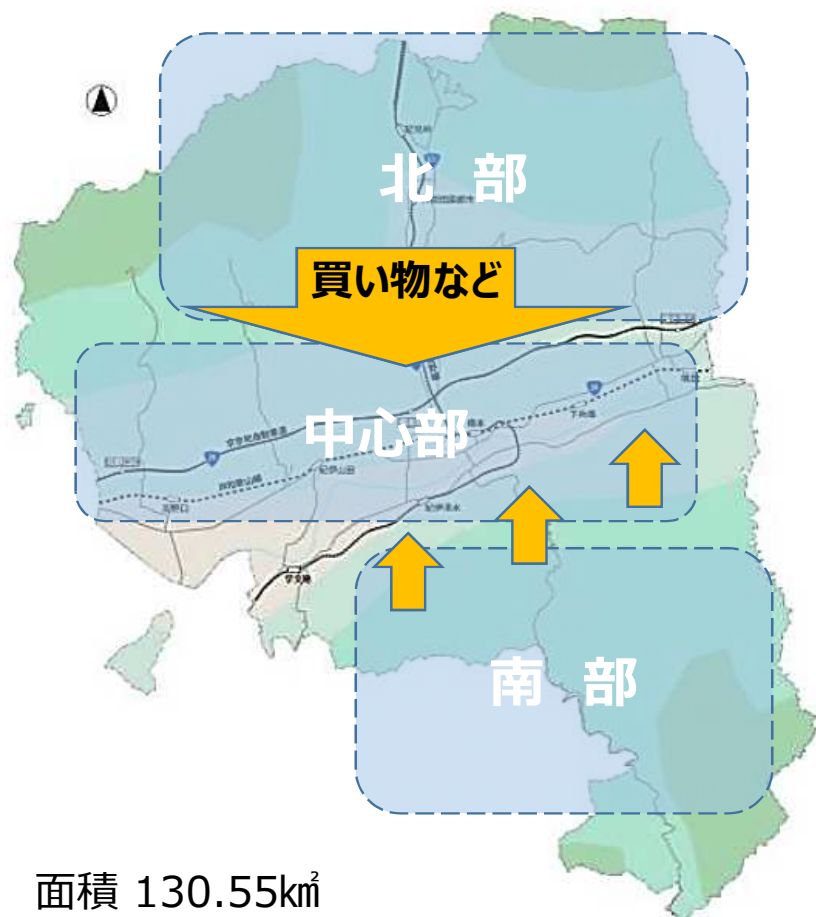
橋本市マスコットキャラクター
はしぼう



紀州繊維工業組合Webページより引用

**新幹線や電車、バスなどのシートに使用される
パイル織物の生産がさかん！**

橋本市ってこんなまち



- ◆北 部 …南海高野線沿いに宅地が密集する丘陵地
- ◆中心部 …商業施設、公的施設が多い平野部
- ◆南 部 …小規模な集落が点在する山間部

⇒ 住宅地と商業施設や公的施設が離れていること、
市内の高低差が大きいことなどから
自家用車への依存度が非常に高い

「クルマ社会」



現在の公共交通



◆鉄道…2路線

JRと私鉄（南海高野線）

◆民間路線バス…1社7路線

◆タクシー事業者…3社

◆コミュニティバス…4路線

週6日（月～土）運行

◆デマンドタクシー…8路線

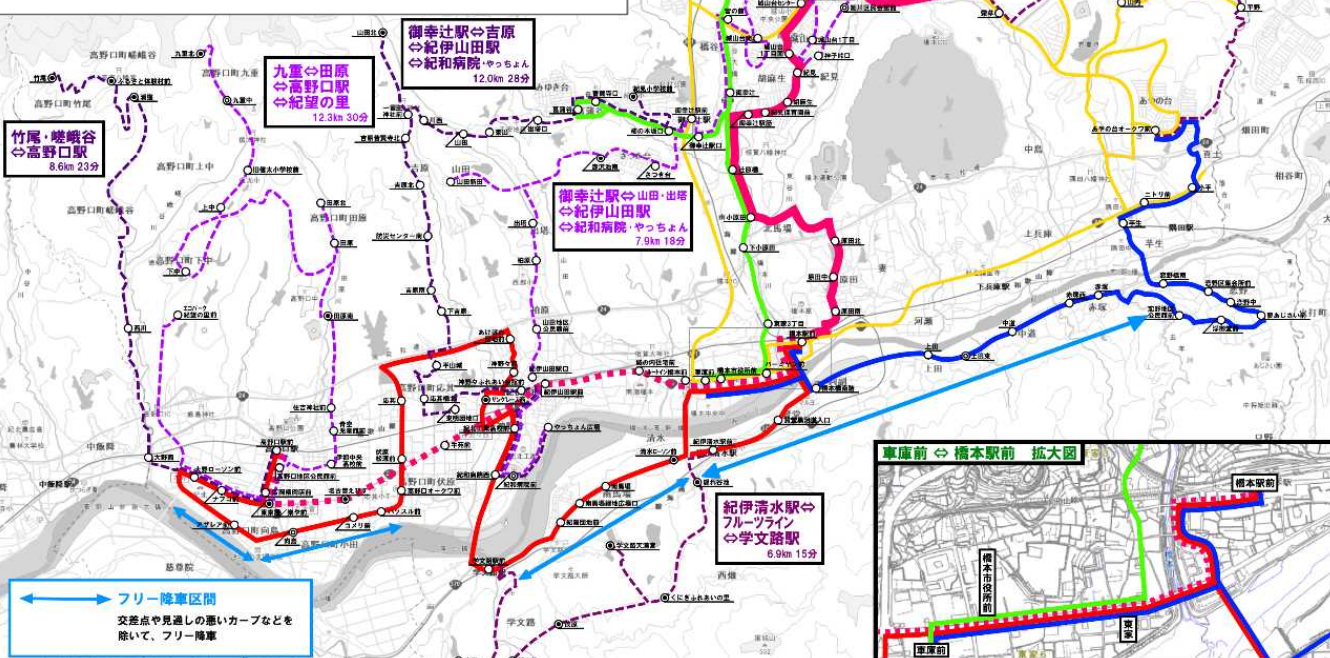
週5日（月～金）運行

大人200円 小人（小学生）100円

市内事業者と協定を結び運行

運行経費と運賃収入の差額を
市拠出金及び国庫補助金でカバー

- 【路線バス】
- ① 紀見橋本病院線
 - ② その他の路線
- 【コミュニティバス】
- ① 北部線
 - ② 東部線
 - ③ 西部線
 - ④ 東西幹線
- 【デマンド交通】
- ・8路線



1. 橋本市コミュニティバス黎明期～多発する競合～
2. 多様な主体がONE TEAMになったわけ
3. パートナーシップによって推し進めた「変革」

橋本市生活交通ネットワーク協議会のご紹介



根拠法令

- 道路運送法(昭和26年法律第183号)
- 地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱(平成23年3月30日国自旅第240号)
- 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律(平成19年法律第59号)

◆ 構成員…行政職員、交通事業者、道路管理者、学術経験者、市民代表等（33名）

◆ 協議内容

- 公共交通の路線や運賃に関する事
- 生活交通確保維持改善計画に関する事
- 地域公共交通網形成計画に関する事

◆ 事務局…橋本市総合政策部政策企画課 地域振興係

- 市民協働
- 交通安全
- 防犯
- 公共交通

…等を担当



橋本市コミュニティバス黎明期 ～多発する競合～

平成18年～平成26年ごろ

コミュニティバス運行のきっかけ

1. 平成16年 橋本市民病院の新設移転

旧市民病院は市中心市街地にあったが、老朽化等を理由に、約4倍の敷地面積をもつ病院として市北東部の「小峰台（おみねだい）」に新設移転。

⇒市内全域からの移動手段を確保する必要が出てきた



コミュニティバス運行のきっかけ



2. 平成18年 市町村合併

平成18年3月1日、旧橋本市と旧高野口町の2市町が合併し、新「橋本市」が誕生。

⇒より広域的なカバーが必要となり、
民間の公共交通でまかないきれなくなった



市民のニーズに応えるために



平成17年
鉄道主要駅⇔市民病院
無料送迎バス
運行開始

平成18年
橋本市コミュニティバス
(市内一律200円)
運行開始

平成23年
75歳以上コミュニティバス無料
(敬老バス乗車券)

▼ハイエース



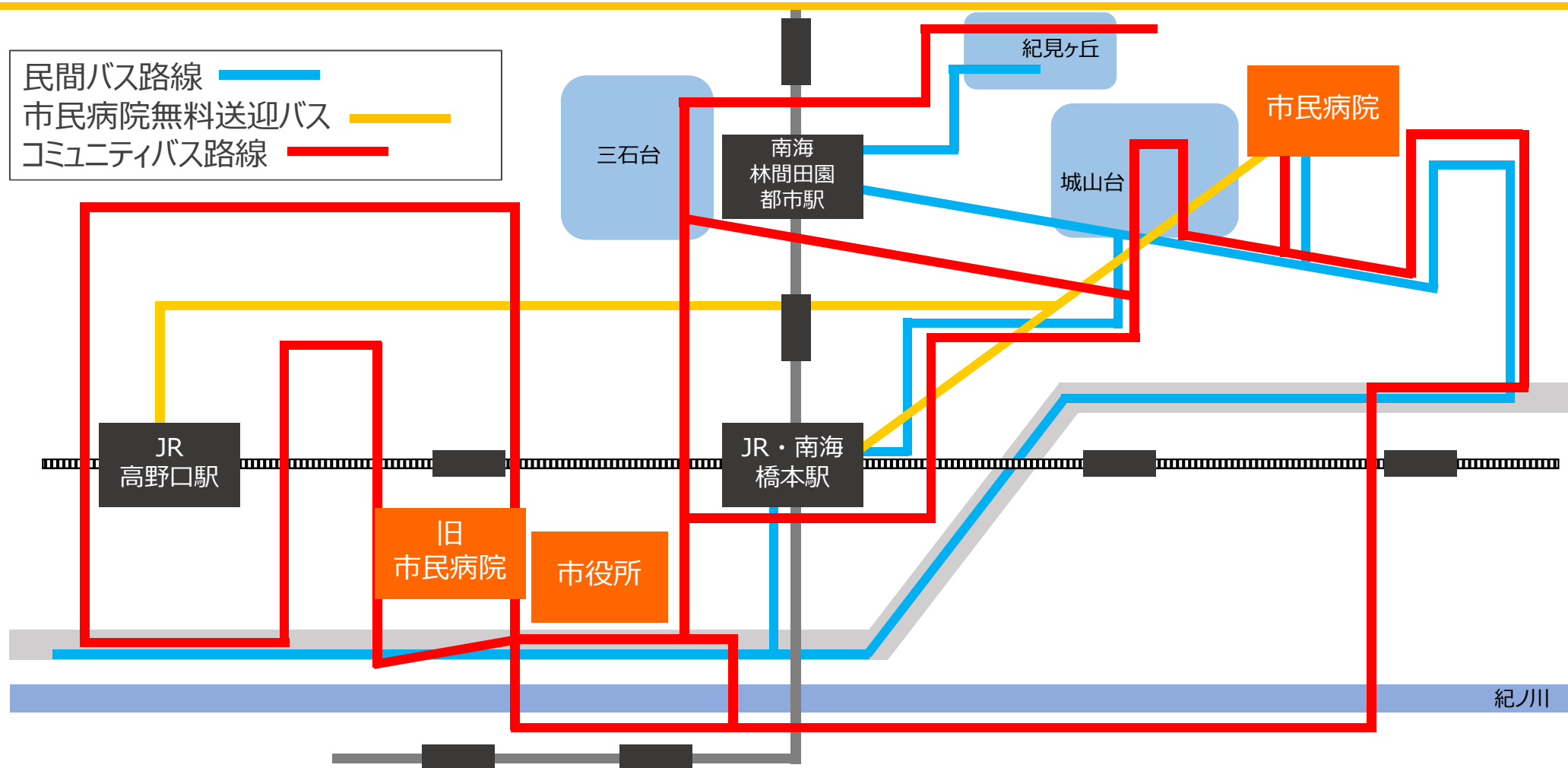
▼ポンチョ (H23～)



競合が最も多かった頃の状況（～平成28年3月）



民間バス路線 —
市民病院無料送迎バス —
コミュニティバス路線 —



長年の交通政策が招いたこと

事業者への影響

無料・安価な移動手段が
経営を圧迫



- ▶バス事業者1社が段階的に運行本数を縮小⇒平成28年3月 完全撤退
- ▶民間交通事業者の利用客を奪う結果となり、タクシー事業者との関係が悪化

市民意識への影響

無料・安価で目的地まで
直接行けるのは当たり前

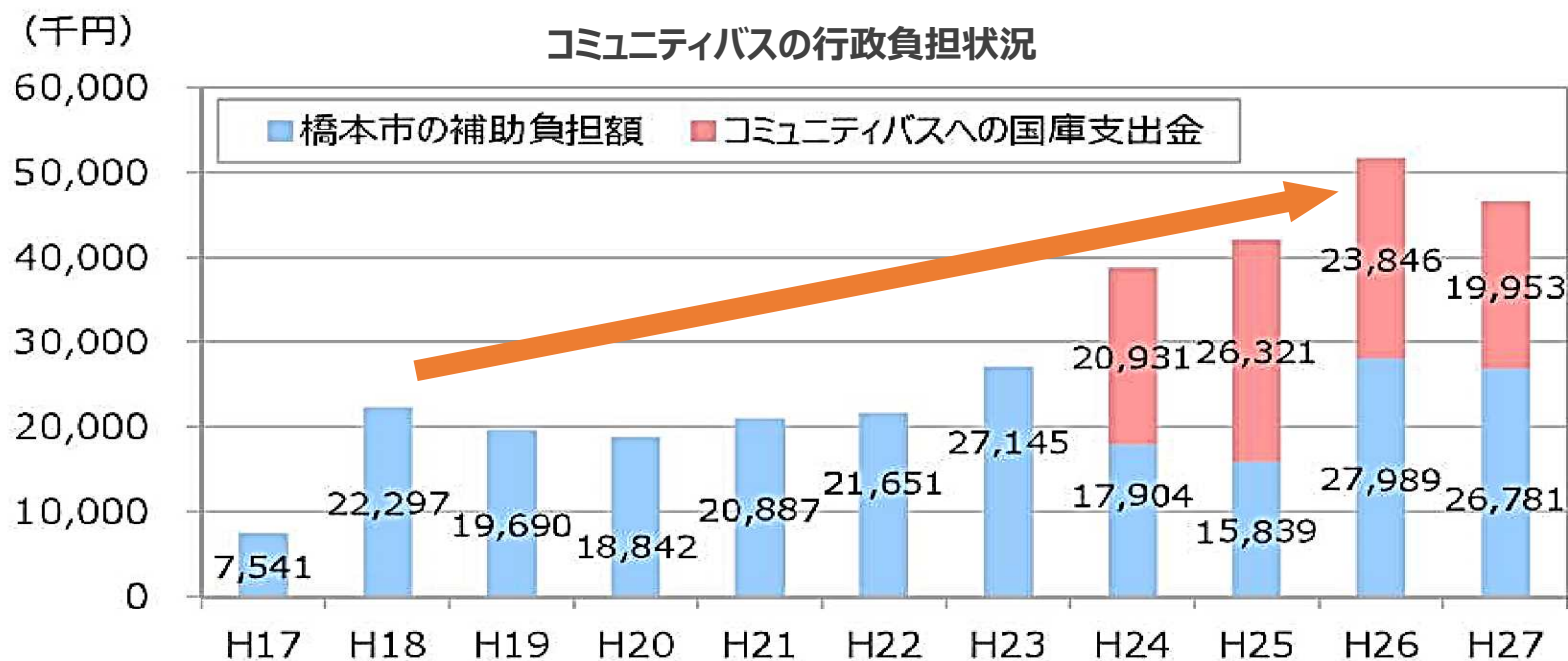


- ▶「路線バスやタクシーは高いから乗りたくない」「乗り継ぎが面倒」「コミバスを充実させて」
…という意見が強まる

長年の交通政策が招いたこと

コミュニティバス土曜運行、増便、敬老バス乗車券事業、ルート新設等により

平成26年にはコミュニティバスの総事業費が
約5,000万円/年以上に膨らむ



多様な主体がONE TEAMに なったわけ

平成27年～平成28年ごろ

増え続ける
事業費

止まらない
民業圧迫

公共交通
衰退の未来



公共交通の担い手それぞれの役割を明確にし、
一致団結することが不可欠

橋本市の窮状を打開するために



75歳以上無料
乗車券撤廃
(平成28年4月)

- 協議会にて撤廃を決定
- 民間路線バスとの料金格差を是正

競合区間の
解消をめざす

- コミュニティバスがもたらす影響を検証
- 競合区間の解消を行う方針を決定

そのうえで
事業者と連携する

- 事業者との協力体制をつくる
- タクシー事業者に「デマンドタクシー」運行を打診

橋本市デマンドタクシーの概要



デマンド（予約型乗合）タクシーとは・・・

- 予約に応じて決まった時刻・ルート走る、タクシー車両を利用したバスです。
- 予約が無ければ運行しません。
- 1便目の予約は、前日17時まで、2便目以降は、運行時刻の1時間前までの電話予約が必要です。
- コミュニティバス・路線バス・鉄道へ接続します。



ご利用の流れ

① タクシー事業者へ電話する

柱本の〇〇です。
次の●曜日の午前1便を□
□□から■■■■まで利用
したいのですが。



② 事業者が予約を受ける

〇〇さんですね。●曜日の午前1便で予約を受け付けました。時刻表に記載の時間までに□□□の乗り場でお待ちください。



③ 予約した乗り場で待つ



④ デマンドタクシーに乗る

目的地によっては
鉄道・バスに乗り換える



- ◆ 週5日（月～金） 予約時のみ運行
- ◆ 定時定路線
※コミュニティバスの代替
- ◆ 市内タクシー事業者3社が計8路線を分担し、予約受付・運行を請け負う
- ◆ 基本はバスや鉄道に接続
一部医療機関には直接乗り入れ



デマンドタクシー導入のメリット



行政

運行経費の削減
必要な時だけ走るため
バスに比べ
低コスト・省エネ

利用者

路線の拡大
バスが進入できない
山間部の集落にも
導入が可能

事業者

収入の確保
新規利用者の開拓
公共交通の一部である
タクシーの便利さを
知ってもらう機会に

住民の要望に応えること
＋
事業者と共存していくこと

持続可能なネットワーク作りの基本
対話を重ね、共存共栄をめざす

タクシー
(3社)

鉄道
(2社)

利用者

バス

行政

パートナーシップによって 推し進めた「変革」

平成28年～令和元年

パートナーシップ協定の締結



和歌山県橋本市サポートプラン

和歌山県橋本市

★ 協定締結(平成28年6月28日)



近畿運輸局Webページより引用

- ◆ 平成28年6月28日
地域連携サポートプランにより
**近畿運輸局 和歌山運輸支局と
パートナーシップ協定を締結**
- ◆ 平成29年11月
「地域公共交通活性化シンポジウムin橋本」
開催
⇒住民・事業者に対し今後の方針について報告

**運輸局との協力体制によって
公共交通ネットワークの改善を行うことに**

橋本市が抱える課題を整理



コミバスと
民間路線バスの
競合区間



各交通手段の
役割を明確化
(競合の解消)

市民病院
無料送迎バスが
民間の需要を奪う



市民病院無料
送迎バスを廃止し、
民間路線バスに統合

長年の政策で
「移動は無償」
という市民意識
が浸透



市民が
公共交通維持に
関わるしくみを
構築

橋本市地域公共交通網形成計画の策定



- ◆ 平成29年3月
和歌山県下で第1号となる「地域公共交通網形成計画」を策定

「みんなが気にして、動いて育てる公共交通」

1 持続的で安全な
交通サービスの創出のための
地域内の連携促進

2 市民・地域の理解
主体性の醸成

3 コミバスと民間路線等の競合解消
行政が対応すべき移動の
効率的なケア

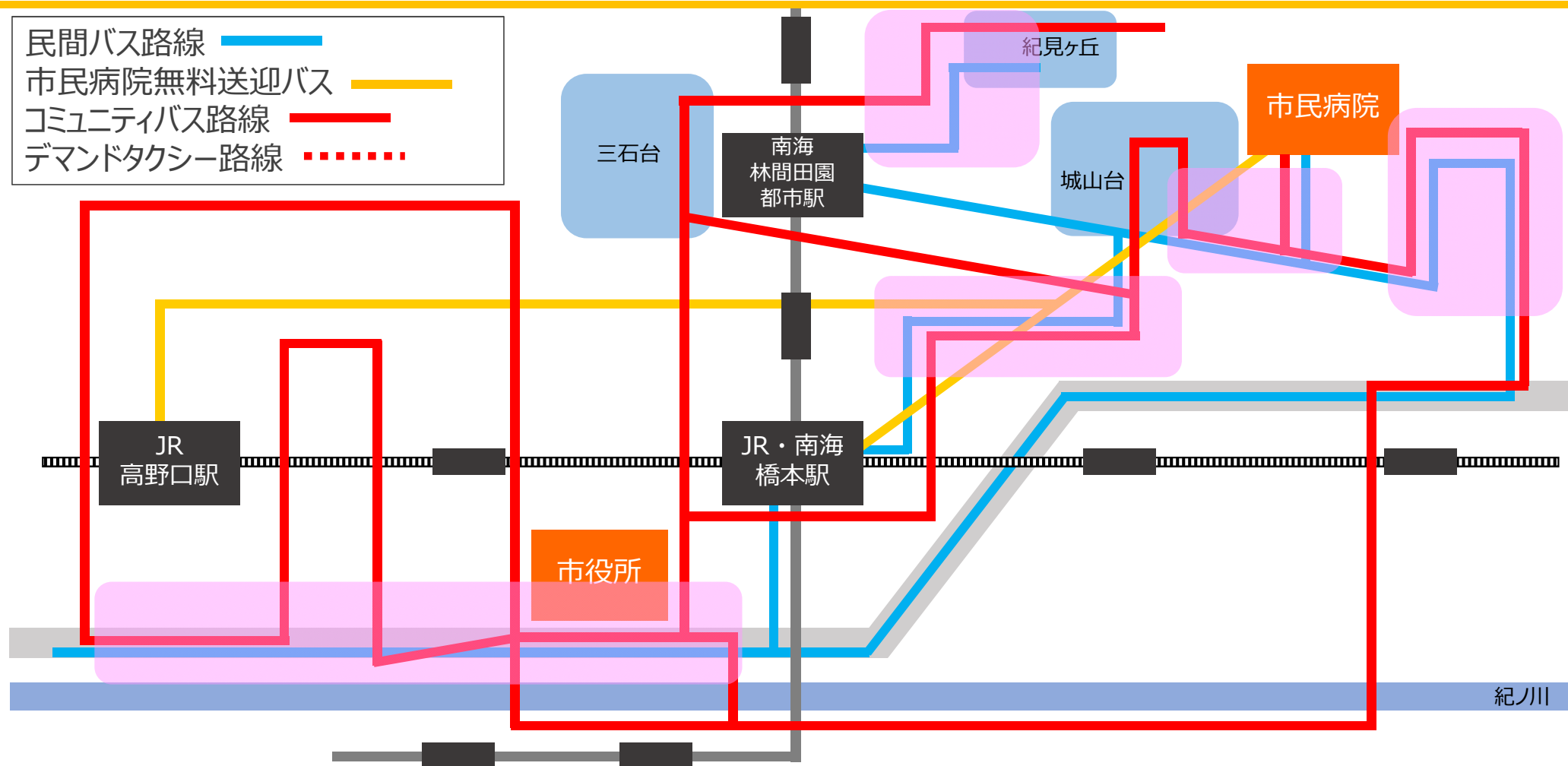
4 ネットワークを形成する
路線間の連携強化

5 幹線・民間路線の育成

6 まちづくり・地域活性化と
連携した需要創出

競合解消のための再編

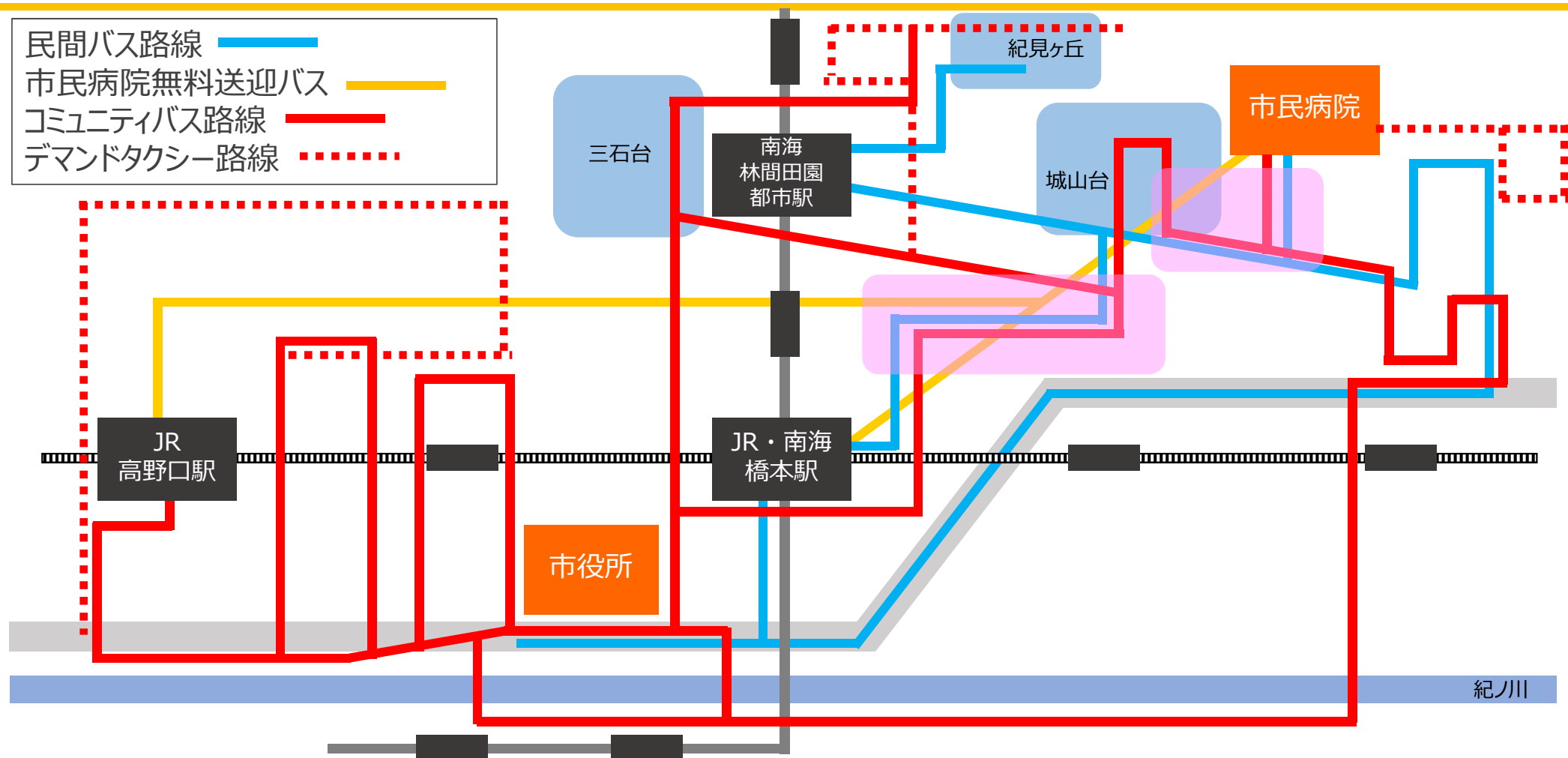
民間バス路線 ————
市民病院無料送迎バス ————
コミュニティバス路線 ————
デマンドタクシー路線 ······



競合解消のための再編（H29.12 1回目）

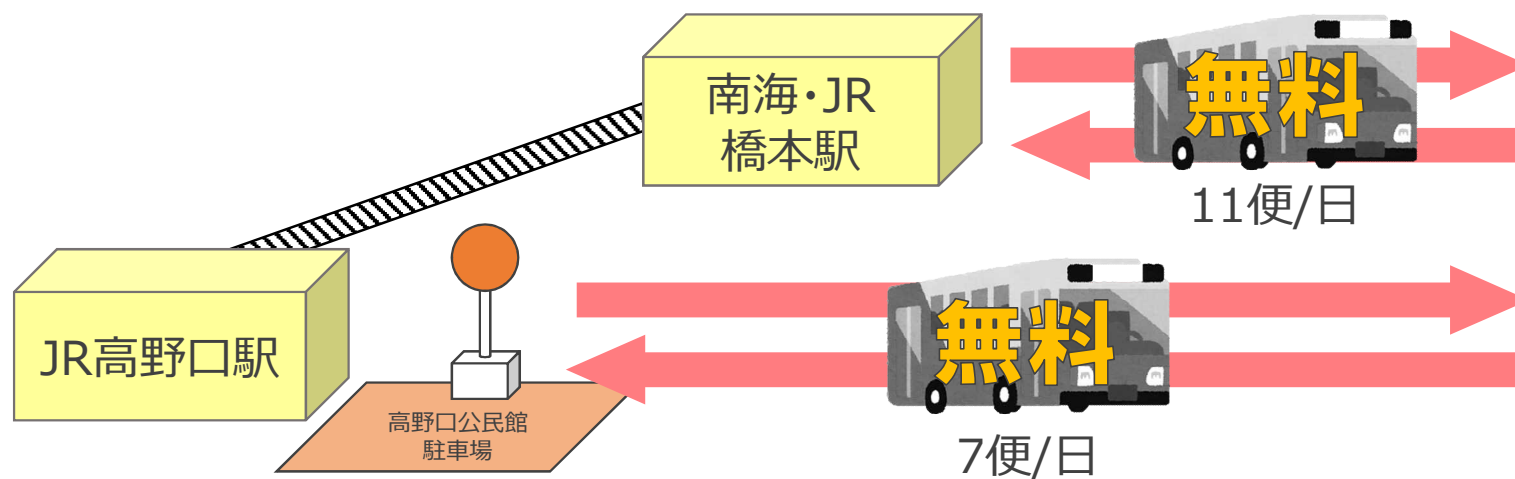


民間バス路線 ————
市民病院無料送迎バス ————
コミュニティバス路線 ————
デマンドタクシー路線 ······



市民病院無料送迎バスの廃止

令和元年12月まで橋本駅、高野口駅付近から
無料送迎バスを運行（市民病院が管理）



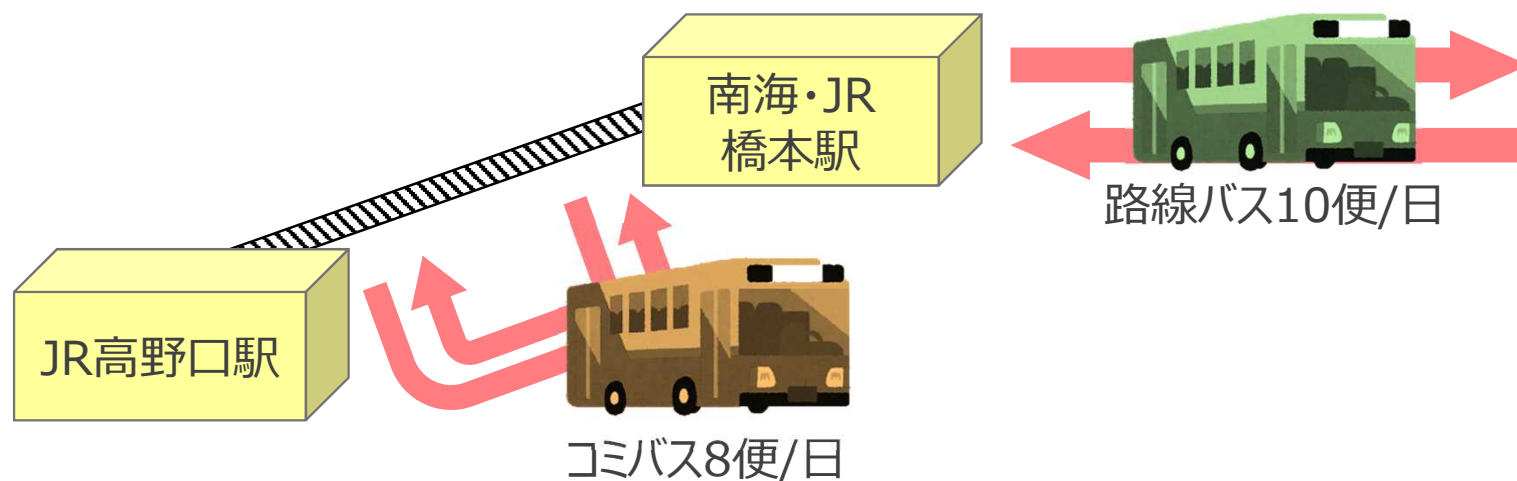
他の公共交通機関と競合し、利用客を奪っていた



橋本市民病院

市民病院無料送迎バスの廃止

令和2年1月に民間路線バスに統合→競合を解消



バス利用者には病院で割引券を渡すなどの対応

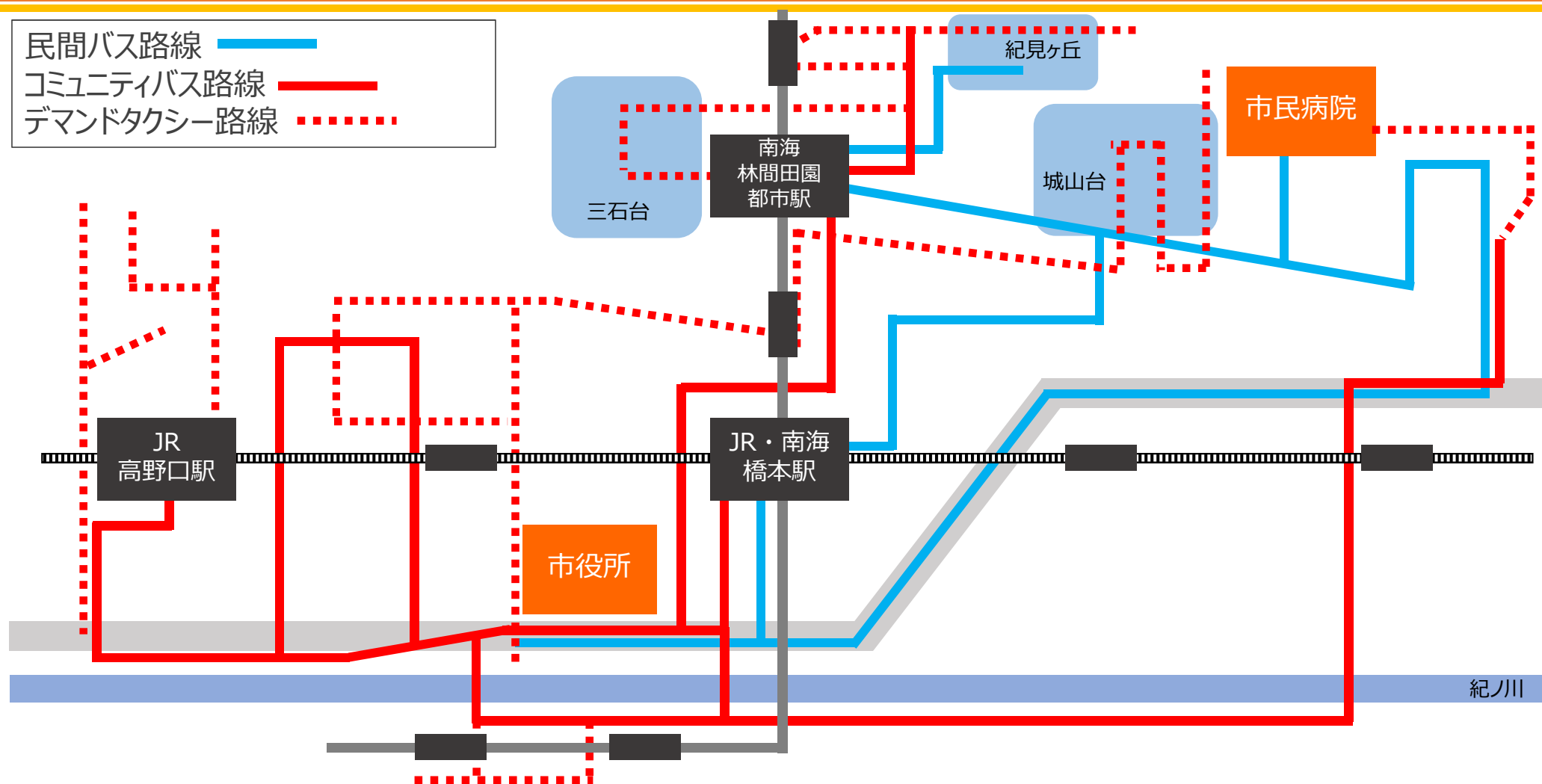


橋本市民病院

競合解消のための再編（R2.1 2回目）



民間バス路線 ————
コミュニティバス路線 ————
デマンドタクシー路線 ······



地域懇談会や乗降調査の実施



平成28年 市内全地区を対象に、地区公民館単位で懇談会を開催

平成29年 橋本市公共交通網形成計画を策定、**再編①**

平成30年 コミュニティバス乗降調査を実施
希望する地区を対象に懇談会を開催

平成31年 橋本市公共交通再編実施計画を策定

令和 2年 **再編②**

意見収集や
調整を行いながら
段階的に実施

事業者との連携を強化



- ◆ 定期的な協議を実施し、課題の共有や意見の収集を行う
- ◆ 橋本市公共交通ネットワーク協議会の委員として、計画策定や再編に携わっていただく

どれか一つに偏らず、俯瞰の視点を持つ

地域の意見

**実際に利用
する人の意見**

事業者の意見

利用者満足度を向上させるための工夫

他の公共交通との連携強化

- ◆ コミュニティバス・路線バスとデマンドタクシーの乗り継ぎ時に運賃割引
- ◆ 交通事業者の協力のもと、鉄道主要駅への乗り入れを開始
- ◆ 他の公共交通機関との乗り継ぎを考慮したダイヤ改正

利便性を高め、利用を促進

- ◆ ICカード乗車券を導入
- ◆ 「標準的なバス情報フォーマット（GTFS）」を活用し、乗換案内アプリでの検索を可能に

市民の生活利用に密着

- ◆ バス停留所の名前を買い物施設・病院・コンビニ名に変更
- ◆ コミュニティバス・路線バスの低床化

役割分担をはっきりさせることがカギ



鉄道

- 市内外をつなぐ
- 駅から駅へ、大勢の利用者を一度に運ぶ
- 定時定路線運行



民間路線バス

- 市内の駅や商業施設、病院、宅地などをつなぐ
- バス停からバス停へ、利用者を運ぶ
- 定時定路線運行



コミュニティバス・デマンドタクシー

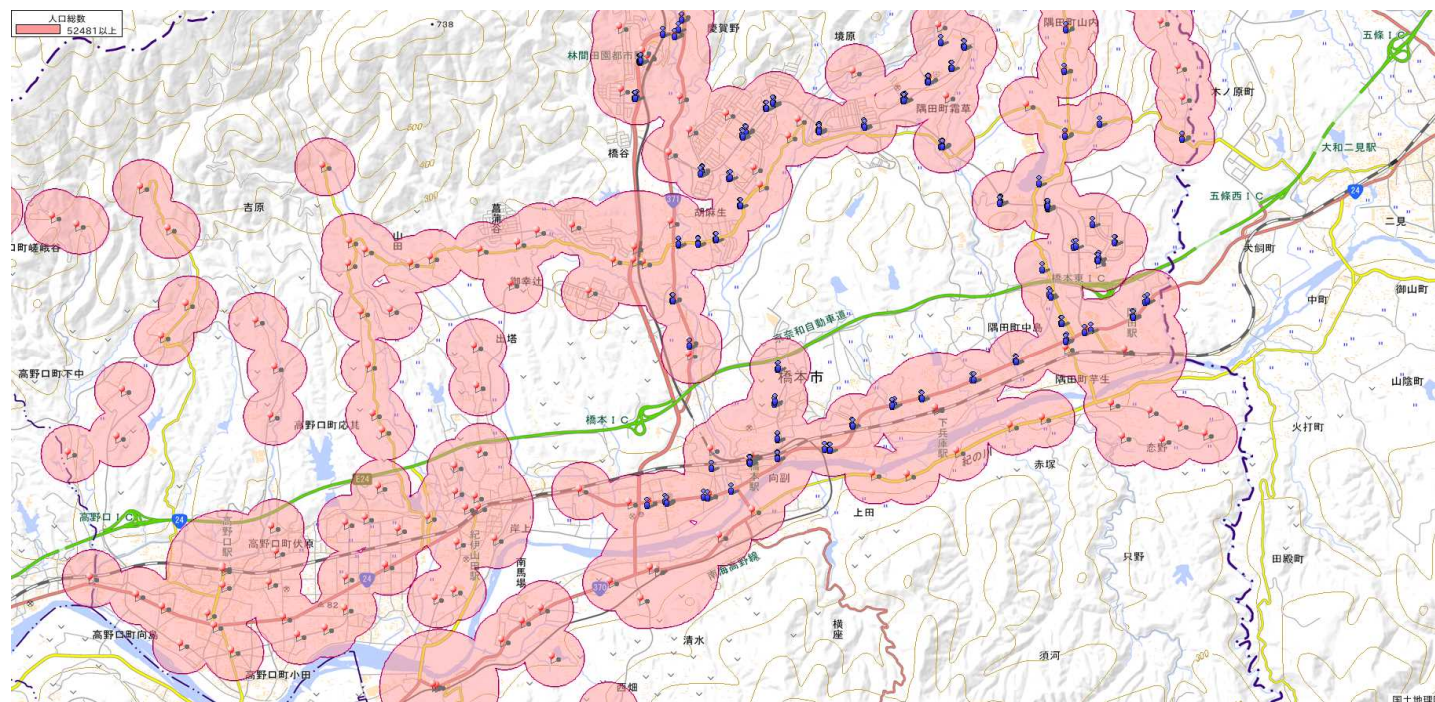
- 鉄道及び民間路線バスにつなぐ
- バス停からバス停へ、利用者を運ぶ
- 定時定路線運行



タクシー

- ドアtoドアで利用者を目的地まで運ぶ
- 必要な時に必要な分だけ運行

公共交通サービス圏の拡大



5次メッシュ（250m）による公共交通カバー率の算出
（バス停まで300mまたは駅まで600m以内）

- ◆ デマンドタクシーの導入により、公共交通の人口カバー率は

再編前…76.0% (H30)



再編後…82.5%

- ◆ より住民が使いやすい公共交通ネットワークを構築

公共交通に関する経費の推移



◆ 平成27年度実績

	コミュニティバス	病院無料送迎バス		合計
		市	市民病院	
市拠出金	26,781,200	0	9,939,234	36,720,434
運賃収入	5,105,100		0	5,105,100
国庫補助金	21,213,000 (※1)		0	21,213,000
総運行経費	53,099,300		9,939,234	63,038,534

※1…フィーダー系統確保維持改善事業補助19,953千円+償却補助金1,260千円

◆ 令和2年度実績

	コミュニティバス	デマンドタクシー	紀見橋本病院線【補助】		合計
			市	市民病院	
市拠出金	11,018,650	846,220	7,592,200	3,253,800	22,710,870
運賃収入	2,913,350	63,500		3,156,000	6,132,850
国庫補助金	13,234,000	0		(※2)	13,234,000
総運行経費	27,166,000	909,720		14,002,000	42,077,720

※2…国庫補助金はコミュニティバスと紀見橋本病院線両方にかかる

ご清聴ありがとうございました

